

伊那市美術館協議会会議録

件 名	令和7年度 第1回 伊那市美術館協議会
-----	---------------------

日 時	令和7年7月23日（水）午前10時～10時52分
場 所	信州高遠美術館 2階 研修室

出席者

関 係 者		教育委員会	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
職務代理者	北原 秀志	教育長	福與 雅寿
委 員	伊東 重明	教育次長	高嶋 利幸
〃	山崎 重幸	生涯学習課長	柴 千恵美
〃	中山 勝司	美術館館長	捧 剛太
〃	今牧 博美	美術館副館長	馬場 文教
〃	原 未那美		
〃	伊藤 仁八		
欠席者	大脇 弘造		
〃	黒河内 京子		

(進行) 生涯学習課長

1 開 会 教育次長

2 あいさつ

(教育長)

今年、伊那美術協会が100周年を迎えました。伊那の地で美術活動に励んでいる皆様の素晴らしい作品や、特に高校生の出品作品を拝見するにつけ頼もしさを感じました。美術振興に取り組んでいただいている皆様に感謝申し上げます。

高遠美術館では、観桜期を中心とした期間には、「伊那に伝わる美の系譜」として、明治から現在に至るこの地域の美の流れをご紹介しました。

現在は、「現代作家6人展」を開催しています。現在、この地で活躍している6人の作家さんが、お互い切磋琢磨して美術界を牽引してきたことがうかがえる展覧会になっています。オープニング式典の日のギャラリートークは印象的でした。

本日は、美術館の今年度の中間報告と来年度の事業計画を説明させていただき、美術館の運営がより良くなり、市民の皆様に親しまれる美術館になりますよう、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

(職務代理者)

欠席の大協会長に替わりあいさつとこの後の進行を行いますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

この協議会の委員の任期は2年ということで、残り1年になりましたが、引き続き、この信州高遠美術館が多くの皆様に親しんでいただける美術館になりますよう委員の皆様の意見をお願いします。

3 協議事項 (進行 職務代理者)

(1) 令和7年度事業について

【資料説明】(事務局)

信州高遠美術館は、主に、原田コレクションと郷土ゆかりの作家の作品を収蔵しています。平成26年度に行われた美術館事業検討委員会の検討結果報告に基づきまして、収蔵資料の調査研究と展示、魅力ある美術館事業を推進するために、令和7年度は次の事業を実施しています。

初めに企画展ですが、これまで3つの展覧会が終了しています。

「収蔵作品秀作展～伊那に伝わる美の系譜～」は、3月8日(土)から5月18日(日)までの会期で、入館者数が3,519人、入館料収入は、1,015,300円でした。

つぎの「美術交流展2025 in 高遠」は、貸館事業で、会期が5月24日(土)から6月8日(日)まで、入館者数が318人、貸館料112,000円をいただきました。

つぎの「収蔵作品展 4人の郷土作家」は、美術交流展と同じ会期で、第2展示室で行いました。

現在、「伊那谷現代作家6人展」を7月27日(日)までの会期で行っています。

この後の展覧会は、「若手アーティスト展 ふうけいのまにまに」を8月2日(土)から10月5日(日)までの会期で行います。長野県ゆかりの4人の作家に企画展の開催業務を委託して行います。4人は、油彩、彫刻等の作家さんですが、それぞれ、インスタレーションによる表現を駆使した従来の展示とは違った展示になりそうで楽しみです。

つぎに、貸館事業で「円室ギャラリー企画展」を10月11日(土)から10月26日(日)まで行います。

その後、今年は戦後80年ということで、「戦後80年展 創造の翼を広げる作家たち」を11月1日(土)から1月30日(金)まで行います。収蔵作品から戦争を象徴する作品や戦中・戦後に独自の活動を行った作家の紹介、また、現代作家の作品から戦争への想いを感じていただけるような展示にしたいと考えています。

同じ期間に第二展示室では「収蔵作品展 魅惑のガラス世界」を行います。江副行昭氏の熔壊ガラスや以前に寄贈された鼻煙壺を中心に展示します。

令和8年の観桜期を中心とした時期の展示は、東京藝術大学との連携40周年を記念した展覧会を開催します。

市民ギャラリー展ですが、(ア)の「収蔵作品秀作展」、(イ)の「美術交流展2025 in 高遠」、(ウ)の「高遠三女のコラボ展Ⅲ」までが終了しています。

現在、(エ)の「天野マサカツ油彩画展 一彩 景色」を行っています。

今後ですが、(オ)の「若手アーティスト展」は、全館での実施になります。

その後、南箕輪村在住の写真家ジェッター・ジョーンズさんによる(カ)の「ジェッター・ジョーンズ写真展」を、続いて、辰野町在住の日本画家の野沢繁子さんによる(キ)「野沢繁子 身近な描写展」、いとう岬さんが交流のある女流作家7人とともにグループ展(ク)「いとう岬と7人の女流作家展」を行います。

年が明けて、今年度のアートのスクールの参加者の作品展(ケ)の「アートのスクール作品展」をロビーで行い、市民ギャラリーでは、(コ)の「高遠高校芸術フェスティバル」を行います。

アートのスクールは、(ア)の刺繍講座、(イ)のポーセラーツ講座、(ウ)のパンチニードル講座、(エ)のデッサン講座まで終了しています。すべて定員を満了した参加者でした。

この後、(オ)のアクリル画講座、(カ)の陶芸講座、(キ)の絵手紙スケッチ講座、(ク)の書道講座を行い、(ケ)の日本画入門講座は、本年度も首都圏から日本画家の高崎昇平さんと村田裕生さんをお招きして実施します。

(コ)のスマホ写真講座は、去年の若手アーティスト展に参加くださった笹川寛司さんをお願いします。続いて、(サ)の風景スケッチ講座を行い、(シ)の年賀状ステンシル講座は、当館の学芸員が講師を務めます。(ス)のお正月フラワーアレンジメント講座は、毎年恒例になっています。

ミュージアムコンサートは、6月1日に「小坂絃未ピアノリサイタル」を実施しました。入場者数が69人、入場料収入が82,500円でした。

貸館事業の状況は、既に終了しているものとこれからの予定を合わせて、7月10日現在で、ロビーでのコンサートや発表会が11件、展示室の使用が2件です。

東京藝術大学連携事業「伊那市×東京藝術大学デザインプロジェクト」につきましては、今年度は、「～藝大生と一緒に季節を描こう～ いろ・いろ・いろ・いろ お花見」と題しまして、10月12日（日）に高遠閣で実施します。

キの施設整備ですが、今年度、照明のLED化の工事を計画しており、先日、業者が決定しました。契約金額は、工事が3,630万円、監理業務委託が154万円です。令和8年3月19日までの工期で行います。展示室などの工事は、館を閉じないといけないので、現在のところ令和8年2月1日から3月19日までの期間を休館にして工事をしたいと考えております。工事全体としては、1月からバックヤードの工事に入る予定です。

次の無線LAN設備の構築工事も業者が決定しました。594,000円で契約し、令和7年7月9日から8月31日までの工期で、現在、資材の調達などをしていただいているところです

令和7年度の事業については、以上です

【質疑応答】

(委員)

公園の花見の時期は、入館状況はどうでしょうか？

(事務局)

数字が手元にございませんが、有料入場になった「さくら祭り」期間は、昨年とだいたい同様の入館者数だったと思います。

しかし、収蔵作品秀作展の全体の入館者数は、3,519人ということで、昨年の池上秀畝生誕150年展の入館者数5,117人に比べて減っています。

(委員)

お花見の時期だけ、なにか割引き入館などを考えられないか。

(事務局)

現在も受付で公園への入園券を提示していただくと100円割引をしています。

(委員)

アートスクールですけれども、参加者の人数等はいかがでしょうか。

(事務局)

これまで実施した4つの講座は、刺繍講座が8人、ポーセラーツ講座が10人、パンチニードル講座が9人、デッサン講座が19人です。それぞれ定員を設けて行っておりまして刺繍講座からパンチニードル講座までが定員10人ですので、だいたい定員に近い受講者でした。デッサン講座は、15人の募集に対し19人に応募があり、先生のご了承のうえ実施しました。

(委員)

施設の無線LAN工事ですけれども、無線LANを利用して例えばオンラインですとか、そういった展開というか、そんなことも考えられているのでしょうか。

(事務局)

まず一つは入館者の方の利便性の向上をということで、今は、施設にWi-Fi環境があるという時代になっていますから、これを利用していただくということが第一義的なことではありますが、無線LANの環境ができますと具体的な計画はまだできていませんが、展示作品の紹介をクラウドに置いた説明データを使い音声で案内するとか、そういうことも将来的にはできるのではないかと考えています。

【採決】(職務代理者)

他にご意見無いようですので「令和7年度事業について」をお認めいただくことでよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

ありがとうございました「令和7年度事業について」は原案のとおりお認めいただきました。

続いて2の「令和8年度事業について」と、関連がありますので3の「展示室貸館規定に基づく展覧会の承認について」を合わせて協議します。事務局から説明をお願いします。

(2) 令和8年度事業について

(3) 令和8年度展示室貸館規定に基づく展覧会の承認について

【資料説明】(事務局)

アの企画展ですけれど、3月から始まっている「東京藝術大学連携40年展」を、全館を使って行います。来年度の観桜期の目玉ということで、東京藝術大学の卒業制作展から作品を持ってくることを現在検討しています。各科の優秀な、あるいはユニークな作品2点ぐらいを持ってくるということで、平面作品も当然ありますし、彫刻や工芸もあります。その他、例えばパフォーマンスとかインスタレーション等いろんな作品がみられるのではないかと思います。東京藝術大学の卒展といたしますと、東京では大きな話題になる展覧会です。学生の関係者だけでなく、全国から芸術関係者が見に来るような、大変人気のある作品展ですので、その一部とはいえ最新の卒展作品を高遠で見ることができ、また、東京藝術大学と高遠、信州伊那との関わりを全国に発信できる機会になると思っています。会期は、3月21日から5月31日までです。

(2)は、令和7年度事業にもありました群馬はじめ全国との美術交流展で、例年どおり行います。

(3)(4)は、収蔵作品展を6月から8月の間で行います。

(5)の若手アーティスト展は、今年度と同様に長野県に縁のある若手作家の作品を集めてその活動を支援する企画として計画しています。来年が9回目にな

ります。

(6)は、貸館の展覧会「奥村憲（あきら）作品展」を計画しています。これは後程（3）の展示室貸館規定に基づくところでご説明させていただきます。

(7)の収蔵作品展は、10月31日から12月まで行います。

(8)は、11月から12月にかけて「円室ギャラリー企画展」を今年度に続いて行います。これも貸館規定のところでご説明いたします。

(9)は、「合併20年記念未来を織りなす伊那市小中高生美術作品展」を計画しています。これは、令和5年度に「伊那市に美術館をつくる会」から50万円の寄付をいただきました。この寄付者の意向を汲んで公募作品展を行なうものです。趣旨としましては、令和8年度が合併20周年にあたるのでこれを記念して、伊那市の輝かしい未来を織りなす小中高生に美術作品の出品を呼びかけ展覧会を実施するというもので、会期は、12月12日から令和9年1月17日までです。

詳細は今後詰めていきますが、対象者は伊那市内の小中高等学校の児童生徒、審査のうえ入賞作品を表彰します。市内の子どもたちを巻き込んだ形の展示を行うことになっています。

(10)の収蔵作品展、令和9年の観桜期企画展を予定しており、現在、企画を検討中です。

続きましてイの市民ギャラリー展ですが、藝大連携40周年展は全館を使っての展示です。美術交流展も例年どおりになります。その後、中島美恵子展、宮崎守旦（もりあき）遺作展、若手アーティスト展、奥村憲作品展、円室ギャラリー企画展、久保村厚写真展、高遠高校芸術フェスティバルと続きます。

ウのその他ですけれども、アートスクール、ミュージアムコンサート、貸館事業、東京藝術大学連携事業のワークショップを例年どおり行なう予定です。

（3）の展示室貸館規定に基づく展覧会の承認については、協議会の承認が必要になりますので3点についてご説明いたしまして承認をいただきたいと思っております。

アの美術交流展2026in高遠は、令和7年度事業の説明にありましたように、群馬県をはじめ日本中の美術愛好家と伊那の美術愛好家の皆さんの交流展を行います。会期は、6月6日から6月21日まで入場料無料で行います。

イの奥村憲作品展について、奥村さんは、風景画を描いていらっしゃる地元の方ですが、日本のアルプスをテーマにした作品展になるようです。会期は、令和8年10月31日から11月15日まで、第一展示室と市民ギャラリーを使います。

ウの円室ギャラリー企画展は、恒例になってきておりますが例年どおりに行います。円室ギャラリーは、上牧にあつて代表が陳斌さんという中国の方です。基本的には中国在住の現代作家と伊那谷に関連ある日本人作家の二人展を行っていたのですが、このところ中国人作家の個展を開催しています。来年度の企画はこれからですが、同様に進めていくと聞いています。

以上、信州高遠美術館展示室貸館規定に基づき上記展覧会の開催について美術館協議会の承認を求めます。よろしくお願ひします。

【質疑応答】

(委員)

「伊那市の未来を織りなす小中高生美術作品展」について、応募期間が8月31日から9月30日までとのことですが、毎年、県の児童生徒美術作品展の審査を10月中旬に行うため、学校では、夏休み明けのこの時期は、美術作品展のために図工や美術の授業時間を多く使いますので、学校として取り組むことが非常に厳しい状況です。夏休み中の子どもたちに取り組んでもらうよう依頼するのか、学校に取組をお願いするのかどのようにお考えか。

昨年の「小中学生が感じた池上秀畝の魅力展」の時は、中学校はデジタル作品を授業の一環として取り組みました。小学校は池上秀畝に関わらない作品を含んでいたり、図工の時間ではないところでもできる小さい作品が多く出されていたりしました。今回の合併20周年記念の美術作品展となると、テーマに沿ったしっかりした作品を募集するイメージになるのではないのでしょうか。

(事務局)

今のところの募集する作品の規格としては、小中学生がB3判の水彩画、高校生は15号から20号程度の油彩・アクリル・水彩の作品で、テーマとしては伊那市をイメージする作品を考えています。

(委員)

小中学校の授業の中で、美術館から新たな企画で取り組んでほしいと言われても、取り組むことは時間的にも難しい。B3判の作品を想定するならば、学校が毎年取り組んでいる県の美術展に出す作品の中から美術館の企画に出品する形であれば可能かと思います。夏休み中や土日を使っての家庭学習として絵画作品を募集しても、今回の企画に応えられるような作品はなかなか期待できないと思います。

(事務局)

以前に高遠の四季展に合わせて小中高生の部として作品を募集した経過があり、それをモデルとして計画してみました。企画案を校長会に提案してご意見をいただこうと思っているのですが、只今、山崎委員からご意見いただきましたので、改めてご相談しながら実施可能な企画案を練りたいと思います。

(委員)

関連ですが、前に四季展をやった時に小中学生からも高遠の風景を描いた作品が出たんですか。

(事務局)

四季展の時は、60点から70点くらい学校を通して作品を出していただきました。

(委員)

高校生の応募作品は、ほとんど高遠高校だったのでしょうか。

(事務局)

市内のそれぞれの高校から数点ずつ、小中学校からはある程度まとまった数の作品をだしていただきました。

(委員)

その当時は、図工や美術の時間が一定程度あったと思うが、今は、時間数が減ってしまって、そこで小中学生が授業で取り組む時間は極めて少ない状況があります。

伊那美術協会の100周年記念美術展に高校生からが90数点の作品が出ました。これまで高校生の出品はほとんどなかったのですが、協会役員が何度も働きかけをして、とにかく先生達と子ども達を動かすということをやりました。そうしないと高校生からの出品は難しいのではないかと思います。

それから、今の高校生は風景画をほとんど描かないし、中学生も学校で写生会をしなくなっているので、伊那市をテーマにすると応募が少なくなるのではないかと思います。

(事務局)

伊那市をイメージするものであれば風景でなくてもよいと考えています。また、学校への働きかけは積極的にしなければいけないと考えています。

(職務代理者)

合併20周年の小中高生美術展の企画自体は、素晴らしいと思いますが、心配なこともあるということです。他になにかご意見がありますでしょうか。

(委員)

美術館に寄贈された作品は沢山あるのでしょうか。美術館の全体でなくていいので寄贈作品展を企画されたらどうでしょうか。

(事務局)

例えば令和6年度は、50点以上の作品を寄贈いただいています。ご意見を今後の運営の参考にさせていただきたいと思います。

(職務代理者)

藝大の連携40年展について、藝大の卒業制作展から秀作を展示するたいへん期待できる展示かと思いますが、連携40周年記念ですので、これまでの東京藝大との連携事業の足跡とか、その時に作られた作品があれば、そういったコーナーなどを展示の中に検討いただければ面白いのではないかと思います。

(事務局)

当初の企画検討の中では連携の経過を展示することも考えていましたが、協議する中で藝大から現代の学生の刺激的な作品の展示が提案されました。折角の40周年ですので、連携の歴史について紹介するコーナーも欲しいと思いますので検討します。

(委員)

小中高生美術作品展について、伊那市の小中高校生というと小中は分かるのですが高校生というと伊那市にある高校ということになるのでしょうか。伊那市から市街の高校に通っている生徒はどうなるのでしょうか。

(事務局)

伊那市にある高校ですので、市外から通っている子も入ってきます。市内在住で市外の高校に通っている高校生も対象になります。

(事務局)

募集の仕方としましては、直接、市内にある高校に出向いて、取りまとめも含めてお願いすることになります。これにより、市内の高校については、募集の情報が届くと思います。市内在住で市外の高校に通う生徒への情報提供の方法としては、ホームページなどになりますので、十分な周知には課題が残るところもございます。

【採決】(職務代理者)

それでは他に無いようですので、令和8年度事業についてと令和8年度の展示室貸館規定に基づく展覧会の承認についてをお認めいただくということでしょうか。

<異議なしの声>

ありがとうございました。協議事項が終わりましたので進行を事務局へお返しいたします。

4 閉会

(教育次長)

ただいま美術館事業につきまして、参考になるご意見等いただきまして大変ありがとうございました。ご意見を参考にしながら8年度事業の調整準備を進めていきたいと思っております。

以上を持ちまして令和7年度第1回伊那市美術館協議会を閉会させていただきます。